



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～クラブのテーマ～

こころゆたかなロータリアン

～本年度会長方針～

みんなでやろう ローター

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013-2014 R.I.会長メッセージ

第1098回例会 2013年12月11日 No.1067号

■ 会長時間



会長 森川 和彦

本日は、ガバナー訪問の日です。沖田ガバナー、佐柳随行幹事、小城ガバナー補佐、畠中ガバナー補佐幹事をお迎えしております。ようこそいらっしゃいました。クラブ員一同、心より歓迎申し上げます。

さて、新入会員の方も多くいらっしゃいますので、簡単に確認いたしますと、当クラブは、地区のロータリークラブで構成される国際ロータリーに所属しています。クラブに役員がいるように、国際ロータリーにも当然役員がいらっしゃるわけですが、その役員は、国際ロータリー会長、会長エレクト、副会長、財務長、理事、事務総長そして地区ガバナーです。沖田ガバナーは、当クラブの所属する第2710地区のガバナーで、この地区では唯一の国際ロータリーの役員ということになります。そして、ガバナーの任務は、国際ロータリー理事会の指揮、監督の下に地区内クラブを指導、監督してロータリーの目的を推進することなので、今日は、当クラブを指導、監督するためにお見えになったということです。

沖田ガバナーは、ご就任以来、大変熱心にガバナーの職務を遂行しておられますので、今日は有益なお話を沢山聞けようと思います。ご静聴をお願いいたします。

ところで、本日は、50人目の会員をお迎えする日でもあります。井上進君、ようこそ陵北ロータリークラブへ。心から歓迎いたします。ともに職業奉仕の理想を追究していきましょう。会長時間を終わります。

今回の例会(12月18日)

クリスマス家族会

次回の例会(1月8日)

新会員歓迎夜間例会

出席報告(吉田例会運営委員)

12月11日(水)出席者			
会員総数	50名	ご来賓	4名
出席会員	41名	ご来客	1名
欠席会員	9名	ゲスト	0名

来客者紹介(菅親睦家族委員)

12月11日(水)出席者
広島RC 1名

幹事報告(鈴木幹事)

■お知らせ

- ・本日例会終了後13:40より、沖田ガバナーをお迎えしてのフォーラムを「音戸の間」にて開催いたしますので、理事・役員・出席予定者の方はよろしくお願ひいたします。次第・席次などを配布しておりますので、ご確認下さい。
- ・次週12月18日の例会は「クリスマス家族会」へ変更しておりますので、お間違えのないようご注意ください。
([於] リーガロイヤルホテル広島 18:30～)

■BOX配布物

- ・2012-2013年度活動報告書



.....SMILE BOX

沖田ガバナー様

ご出室をいただいております。

小城ガバナー補佐様

ご出室をいただいております。

森川和彦 会員、渡部邦昭 会員、古谷幸一 会員、鈴木大次郎 会員

沖田ガバナー様、佐柳随行幹事様、小城ガバナー補佐様、畠中ガバナー補佐付幹事様、本日はようこそおいでいただきました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

鈴木大次郎 会員

台北松山RC23周年記念例会へ出席して参りました。マニラより2名、貝塚より4名の方が参加しておられました。会長より25周年にはおいで下さいとの事でした。

当日計	71,000円	累計	546,000円
-----	---------	----	----------

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】森川 和彦

【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F

【TEL】082-221-4894

【幹事】鈴木 大次郎

【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/>

【FAX】082-221-4870

ガバナー公式訪問(1/3)

国際ロータリー第2710地区 ガバナー

沖田 哲義 様

2013-14年度の当地区ガバナーの沖田哲義でございます。所属クラブは下関ロータリー・クラブです。本日は広島安佐ロータリー・クラブの皆様にご挨拶をいたしましたことを、まづもって衷心より感謝申し上げます。

【第1 RIテーマと会長強調事項】

さて、ガバナーには、各クラブへの公式訪問の際に行うべき義務が科せられています。それが、国際ロータリー(以下、「RI」といいます。)会長の掲げられたRIテーマ及び会長強調事項の伝達とその解説です。これは、ガバナーが当該地区におけるRIの唯一の役員だからであります。皆様、よくご存じのとおり、本年度のRI会長は、ロンド・バートンさんです。同会長(以下、「バートン会長」といいます。)の掲げられたRIテーマ及び会長強調事項は、次のとおりです。



1 RIテーマ

原文英語 ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES
公式日本語訳 ロータリーを实践し、みんなに豊かな人生を

これに私は、「ロータリーを自分の中に取り込んで、皆さん(当該ロータリアン自身)の人生(生き方)を変えなさい。」という訳文を加えています。その理由は、バートン会長が、サンディエゴにおける国際協議会の演説の中で、「ロータリーの奉仕では、努力すればするほど、多くを得ることができます。そして何よりも、あなた自身の人生が一番豊かになるはずですよ。」と述べられ、また「RI会長メッセージ」の中でも、同様のことを述べられているからです。また、極めて重要なことですが、このRIテーマは、RIの第2標語(アーサー・フレデリック・シェルドンが提唱した「He Profits Most Who Serves Best」という「奉仕の実践理論」と同じであるという点です。これについては、平成25年5月16日に、私は、広島において直接バートン会長から確認しています。そこで、私は、このRIテーマを理解するためにも、地区のロータリアンの皆様には、上記第2標語をもう一度しっかり勉強して頂きたいと思っています。ちなみに、この第2標語が現代におけるロータリーの対外的活動の重要な理論的支柱であることについては、PETSの際にもお話ししましたし、私の「ロータリーとは(ロータリー概論)」(以下、「概論」といいます。)|「会員開発委員会での質問に対する回答(平成25年6月5日付)」(以下、「回答書」といいます。)|の中でも詳細に述べています。これらをご参考になさってください。

2 会長強調事項

- ① 会員増強の推進
- ② ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実
- ③ ロータリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

(1) 会員増強の推進

この必須項目としては、「入会希望者を増やし、会員を維持することにより、7月1日から3月1日までの間に、会員を少なくとも1名純増させる。」ことです。

(2) ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実

この必須項目としては、「地元または海外で、少なくとも1つのロータリー重点分野に関連する奉仕プロジェクトに参加する。」ことです。ちなみに、ロータリーの重点分野とは、次の6つの重点分野です。

- ・平和と紛争予防／紛争解決
- ・疾病予防と治療
- ・水と衛生
- ・母子の健康
- ・基本的教育と識字率向上
- ・経済と地域社会の発展

この6つの重点分野は、ロータリー財団の4つの使命である、①「健康状態の改善」・②「教育への支援」・③「貧困の救済」・④「世界理解・親善・平和の達成」を具体化したものです。RIもこの6つの重点分野を奉仕活動の優先的な対象分野として決定したといわれています。なお、奉仕の理想と6つの重点分野の関連性については、PETSの際にもお話ししましたし、また、概論や回答書の中でも詳細に述べていますので省略します。

ガバナー公式訪問(2/3)

(3) ローターリー・ファミリーを通じたネットワークの強化

必須項目としては、以下のいずれか、または両方を達成することとされています。

- ・全てのクラブ会員とその家族が参加する親睦活動または奉仕活動を少なくとも1回行う。
- ・地元地域の奉仕プロジェクトにおいて、ロータリー以外の団体と協力する。

この6つの重点分野は、ロータリー財団の4つの使命である、①「健康状態の改善」・②「教育への支援」・③「貧困の救済」・④「世界理解・親善・平和の達成」を具体化したものです。RIもこの6つの重点分野を奉仕活動の優先的な対象分野として決定したといわれています。なお、奉仕の理想と6つの重点分野の関連性については、PETSの際にもお話ししましたし、また、概論や回答書の中でも詳細に述べていますので省略します。

【第2 RIテーマとガバナー信条等との関係】

次に、私の掲げた地区のガバナー信条(以下、「ガバナー信条」といいます。)等とRIテーマとの関係を整理しておく必要があります。

1 ガバナー信条

私は、ガバナー信条として、以下のものを掲げました。

奉仕活動を見直そう。
「新しい奉仕活動への挑戦」

このガバナー信条は、昨年9月の段階で発表したものです。したがって、サンディエゴでの国際協議会を待たずに発表したのです。このように極めて早い段階で発表した理由の一つには、私の年度がロータリー財団の未来の夢計画の実施年度に当たることが上げられます。この実施年度という点については、どなたがRIの会長に就任されようとも変更できないことなのです。しかも、この夢計画の運用如何によっては、RIの奉仕活動自体が、将来的には革命的に変化する可能性があります。そこで私は、従前の奉仕活動を見直し、RIの奉仕活動とR財団の補助金活動を一体的(即ち、両者は切っても切り離せないこと)に捉えた上で、外に向かっての対外的な奉仕活動を、力強く且つ早急に前進させる必要があると思い、いち早くガバナー信条を定め、これに基づくガバナー指針を発表したのです。このガバナー指針の詳細は、概論の添付資料の中に別紙15として編綴していますので、もう一度お読み頂きたいと思います。こうして、私は、国際協議会に臨んだのです。しかし、そこで発表されたバートン会長の先程のRIテーマは、私のガバナー信条と殆ど同じだと感じました。何故ならば、会長賞説明文の中では、「ロータリー財団を通じた人道的奉仕の充実」(会長強調事項の2項目です。)と述べられています。これは、私の目指そうとしている、RIの奉仕活動とR財団の補助金活動の一体化をも意味しているものと思います。また、挨拶文では「チャレンジ」(挑戦)と述べられているからです。

2 運営の重点方針

次に、運営の重点方針です。

(1) RIの奉仕活動とR財団の補助金活動の一元化です。

以下、両活動を総称して「ロータリー活動」といいます。この一元化の必要性については、ロータリー財団に対するアレルギーを取り除き、未来の夢計画を確実に遂行するためのものですが、詳細については概論の別紙21をご一読ください。

- ア 意識面と組織面
- イ 従前のロータリー活動の分析と評価
- ウ 望ましいロータリー活動の研究と提言

なお、イトウは、地区大会で発表する予定にしています。このため、地区の奉仕プロジェクト委員会の委員の皆様にはご苦勞をかけますが、各クラブの皆様も、これに十分なご協力頂きたいと思います。

(2) 未来の夢計画の確実な実行

(3) 会員増強(併せて「SAKUJI作戦」の遂行)

サクジ作戦とは、サクセス・ジャパンという正式名称の略称です。田中作次RI直前会長の名前をもじったものです。簡単にいいますと、地区の内外を問わず、ロータリアン一人が、入会させたい一人を紹介するというものです。

(4) 各クラブ及び地区の情報のデータベース化の研究とソーシャルメディアの活用

ソーシャルメディアとは、双方向のメディアであり、新聞テレビ等の一方方向のメディアを「マスメディア」と呼んでいます。

ガバナー公式訪問(3/3)

(5) 地区大会を具体的なロータリー活動の研究発表の場とすること

(6) 職業奉仕の研究の深化と啓蒙活動

3 運営の具体的目標

次に、具体的な目標です。

(1) 会員増強(純増1名)

(2) SAKUJI作戦の遂行

(3) RI会長賞への挑戦

3つのカテゴリー(前記強調事項)

(4) ロータリー財団支援

ア ポリオ・プラスへの支援 5ドル/人 以上

R財団セミナーでは、30ドルという要請が出ましたが、これは到底無理なので、5ドル以上とさせていただきます。

イ 年次基金寄付 150ドル/人 以上

昨年は120ドルでしたが、本年は30ドルアップしました。

ウ 恒久基金寄付 ベネファクター1人以上

エ ロータリーカードの協力 各クラブ担当者の決定

(5) 米山記念奨学会支援 16,000円(普通寄付と特別寄付を合わせて。但し、普通寄付のみを希望)/人 以上

(6) RI人頭分担金 53ドル/人

(7) 地区関係負担金 25,000円/人

昨年は24,500円でしたが、本年は地区大会に大懇親会を復活させますので、500円のアップをお願いします。

(8) RI広報補助金の活用

以上のとおりですので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

入会式

新会員井上進君の入会式を行いました。入会認証書・4つのテストを森川会長から授与し、ロータリーバッジを沖田ガバナーより授与していただきました。



会長幹事懇談会

沖田ガバナー、佐柳随同行幹事、小城ガバナー補佐、島中補佐幹事、当クラブより森川会長、大旗パストAG、鈴木幹事、山本副幹事が出席して会長幹事懇談会を行いました。



フォーラム

例会終了後、沖田ガバナー、佐柳随同行幹事、小城ガバナー補佐、島中補佐幹事をお迎えしてフォーラムを開催しました。各理事・委員長の方から忌憚のない意見が出され、有意義な時間になりました。

